

第2回 下呂市廃棄物減量等推進審議会

日時 令和4年3月23日（水）午前10時より

場所 下呂市民会館 2階大会議室

1. 開会

2. あいさつ

3. 協議事項

1) 資源ごみの回収方法等について

2) その他

4. その他

5. 閉会

【資料】

- ・担当課からの提案（実施素案）
- ・資源ごみの排出～回収に係る比較検討（利点・懸案事項・課題）・・・資料1
- ・審議会委員アンケート結果
- ・市収集用指定袋 年間使用量（平成30年度から令和2年度）・・・参照資料1
- ・高齢者ごみ出し支援（新聞記事）・・・・・・・・・・・・・・・・・・参照資料2

参考：既存のステーションで実施した場合（任意の袋又は容器に直接投入）

- ・分別品目を増やすことが難しい（ステーション場所が限られている）
- ・回収の日数を増やすことはできない。
- ・ステーションの管理が困難

【担当課としての提案（実施素案）】

1. 市内北部・南部に、資源ごみ回収拠点のモデル箇所（実証実験場所）を設定する。
市有地、敷地の余裕、接地面状態、土地利用状況など諸条件より、即応実施が可能と思われる小坂町内に拠点を2箇所、上原地区に1箇所、拠点を設置する。

※候補地 小坂地域 湯屋公民館敷地、川井田地域市有地
下呂上原地域 上原グラウンド駐車場

2. 開設日時 月2回、時間は午前3時間、午後3時間程度を想定
例) 第2. 4日曜日 午前9時～12時、午後1時～4時

3. 拠点の施設

貨物コンテナ又はコンテナハウス（プレハブなど）を設置、若しくは、受入日時に、コンテナ車を配置して回収。

4. 資源ごみ回収の対象品目について

小坂小・中PTA及び上原小、下呂小・中PTAが資源回収をしていない品目とする

小坂2箇所	上原1箇所
ペットボトル	ペットボトル
スチール缶	
生きびん	

5. 拠点での回収容器（回収容器は市が準備）

- ・ペットボトル⇒フレコンパックに直接投入 サイズ 500ℓ以下
- ・スチール缶⇒コンテナ（プラ製）に直接投入 サイズ 144ℓ（706×456×390mm）
- ・生きびん⇒ 清酒ケース・ビールケース

※回収後の搬出時に空の容器と交換。

※ペットボトルとスチール缶については任意の袋（透明）でも受入をする。

6. 管理 拠点には管理人を2名配置し、施設の管理及び分別指導を行う。

7. 回収方法 回収後の資源ごみの運搬は市内ごみ収集運搬許可業者に委託を検討。

8. 実施時期について

- ・令和5年度中に実施（備品の準備、市民周知期間などを考え年度当初からは難しい）

排出状況を確認し、品目の増減、拠点場所の追加等検討をしていく。

1. 資源ごみの排出～回収に係る比較検討

拠点回収	①既存ごみステーション、②資源ごみステーション
既存のごみステーションを利用せず、新しく専用の拠点を設置する。拠点の管理について、箱物や籠、ネット及び無人か有人かにより変わってくる。	①市の指定袋ではなく、サイズ、色（透明）、等の基本的な仕様は示したうえで自費購入した任意の袋で資源ごみを排出 ②市がごみステーションに籠やネット袋等を設置し、直接資源ごみを入れる。
利点 <ul style="list-style-type: none"> ・いつでもごみ出しが可能。（24 時間方式なら）設置条件による ・土・日曜日の対応も可能 ・倉庫、物置、コンテナなど管理施設が有れば、悪質者対策は可能（監視カメラ等） ・管理施設の設置により、料金無償化の場合、比較的スムーズな移行が可能 ・資源循環利用、リサイクルに向けた意識の高揚 ・異物混入の防止、排出ルール遵守が可能（管理人が常駐すれば） ・人が常駐（管理あり）であれば、回収品目を増やすことが可能 ・収集委託費用の減額が可能（拠点が少ない場合） 	利点 <ul style="list-style-type: none"> ・市民は指定袋（1枚 65 円）を負担する必要がなくなる。 ・ごみ出しする場所が変わらない（居住地周辺に所在） ・収集日程は現行のまま行うことが可能 ・①の場合、早期実現が可能。市内全域に実施可能（拠点場所等の協議が不要） ・①の場合、施設設備投資や用地確保等の労力が不要
懸案事項 <ul style="list-style-type: none"> ・利用可能日設定の場合、管理人（受付、分別指導等）が必要（市税の投入） ・利用可能日設定の場合、開設日時を決める必要があり、土・日曜日対応が必要 ・常設型の場合、施錠、門扉等や、監視カメラ、対象者検知作動システム、防犯・不法者防御設備等が理想。特にシステムや設備は高額、且つ維持管理費高騰等の問題あり（拠点多いほど増加） ・ステーションが遠くなる事により、ごみ出し困難者への対応が求められる ・施設・設備・回収容器調達等への投資及び、維持管理費をいかに抑制するかの問題（拠点多いほど増加） ・既存ごみステーション併用（燃えるごみ等は現行方式）との収集運搬時の巡回ルート及び、回収必要性判断等の巡視～連絡調整体制 	懸案事項 <ul style="list-style-type: none"> ・氏名記入が無くなる事により、異物混入や排出ルール無視者出現の恐れ（非洗浄での排出、分別しない状態での排出、収集不能物の排出、生ごみ投棄→悪臭発生→動物、鳥類の集結による荒廃など） ・①の場合、1回の5袋までの排出制約が撤廃の形となる。また、無料化によりごみ減量意識が薄弱化し、既存容量では賅えない恐れあり（一度に大量に排出される） ・①の場合、排出者の限定が出来ず、指導シール効力が無能となる ・②の場合、回収容器調達に係る費用と回収容器設置等の労務費用が必要。 ・②の場合、籠やネットなどの備品購入、備品の管理が必要 ・今後品目を増やすことが困難（収集日程の調整等）

1. 資源ごみの排出～回収に係る比較検討

拠点回収	①既存ごみステーション、②資源ごみステーション
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な対象地域ごとの地域の実情に合わせた設置箇所数の検討(旧町村ごとに○箇所なのか学校区ごとに○箇所や自治会ごとに○箇所など) ・ 設置場所の選定。市有地、学校跡地の利用、地区等所有地、民有地など ・ 民有地等の場合の使用賃貸借又は、用地取得(市税の投入) ・ 市有地以外の場合、無償提供ないし格安提供等の提携など ・ 市有地は、既に各用途に沿った土地利用となっており、条件合致の場所が皆無 ・ 積み込み～運搬用のトラックが旋回及び、積み込み作業可能な広さが必要 ・ 利用可能日設定又は、常設型の選定、管理人等従事者の模索 ・ 箱物(倉庫・物置・貨物コンテナ等)は、シャッター等を施錠が出きる物が望ましい ・ 監視カメラの設置が必要(室内…人の検知及び、室外…車両番号の検知) ・ 常設型の場合、対象者検知作動システム、防犯・不法者防御設備等の検討 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 異物混入・排出ルール非遵守に対する対応策…見張り役+ステーション施錠など ・ ①の場合、袋の自費購入や回収後の焼却処理等といった“無駄”の考慮 ・ ②の場合、天候不良の対応(雨風によるコンテナ籠ネット袋等の飛散・流出、積雪排除、積雪荷重破損等) ・ ②の場合、コンテナ籠やネット袋の設置者の問題(収集運搬業者又は、地域活力による責任者選出等) ・ ②の場合、コンテナ籠やネット袋の場合の回収方法の問題…中身のみ回収又は、容器ごと回収し再設置等 ・ ②の場合、既存ごみステーションBOX以外の回収容器設置スペースの確保

審議会委員アンケート結果

○ 集団資源回収実施団体について

Q1 各地域における集団資源回収において、直面する課題についてお尋ねします。

○ 該当する番号に○（いくつでも）

項目	回答数	割合
1. 人手不足	11	23.91
2. 運営資金	3	6.52
3. 収集手段	3	6.52
4. 保管場所	5	10.87
5. 事務手間	1	2.17
6. 作業労力	3	6.52
7. 周知広告	6	13.04
8. 他団体との共存	3	6.52
9. 資源ごみ買取相場の変動	5	10.87
10. 排出マナー	2	4.35
11. 意識の高揚・モチベーション維持	2	4.35
12. 特になし	1	2.17
13. その他	1	2.17
計	46	100.00

○ 集団資源回収の課題 13. その他

乾電池は、各地区で回収箱などを設置して、回収を進めると良いと思います。

○ 懸案となっている課題（上記番号）を最大2つまで選んでください

項目	回答数	割合
1. 人手不足	5	23.81
2. 運営資金	2	9.52
3. 収集手段	1	4.76
4. 保管場所	4	19.05
5. 事務手間	1	4.76
6. 作業労力	2	9.52
7. 周知広告	1	4.76
8. 他団体との共存	0	0.00
9. 資源ごみ買取相場の変動	3	14.29
10. 排出マナー	0	0.00
11. 意識の高揚・モチベーション維持	2	9.52
12. 特になし	0	0.00
13. その他	0	0.00
計	21	100.00

Q2 各地域における集団資源回収に関して市に望むことについてお尋ねします。

① 該当する番号に○（いくつでも）

項目	回答数	割合
1. 広報誌、ホームページ等による実施日告知	7	23.33
2. 取組み事例の紹介・効果PR	7	23.33
3. 奨励金単価の見直し	6	20.00
4. 取組み団体との情報交換	6	20.00
5. 回収袋、結束ひも等の支給	2	6.67
6. 特になし	1	3.33
7. その他	1	3.33
計	30	100.00

① 集団回収 市への望み 7. その他

回収業者との使途の関係
高齢者が多い中、ホームページより広報誌

② 特にしてほしい支援（上記番号）を最大2つまで選んでください

項目	回答数	割合
1. 広報誌、ホームページ等による実施日告知	3	15.79
2. 取組み事例の紹介・効果PR	5	26.32
3. 奨励金単価の見直し	6	31.58
4. 取組み団体との情報交換	3	15.79
5. 回収袋、結束ひも等の支給	1	5.26
6. 特になし	0	0.00
7. その他	1	5.26
計	19	100.00

Q3 資源ごみ袋を無料化する場合に資源回収団体、自主回収店舗への影響する品目についてお尋ねします。

項目	回答数	
		割合
1. 新聞雑誌	5	17.24
2. ダンボール	5	17.24
3. アルミ缶	5	17.24
4. スチール缶	3	10.34
5. リターナブルびん	1	3.45
6. 衣類	2	6.90
7. 紙パック	1	3.45
8. 食品トレイ	3	10.34
9. 特になし	4	13.79
10. その他	0	0.00
計	29	100.00

Q3 影響する品目 10. その他 回答無し

Q4 集団資源回収が充実していない地域に対してどのような対応が必要と思いますか。

地域の働き手が少ない点については、学校の資源回収を中心にその校区の自治会で運営する方法をとってはどうか。
奨励金などを充実させれば、スポーツ活動団体などが自分達の活動資金作りの為に積極的に活動してもらえらると思う。
集団資源回収の目的と目安を示さないと、取り組み拡大にはつながらないと思っております。
住民に資源回収の意義を理解して、高い意識を持っていただくことが必要である。 集団資源回収の回数を増やし、定期的に行うとよい。または、地域に普段から出すことができる回収場所を設置する。
関心のある人達が呼びかけることも大切 小学校の回収には地域の方の協力が得られるので続けていってほしい。
P T A、N P O等にまかせないで、それぞれの地域の問題として区民が取組む様、協議が必要。 参加地域への報奨金制度
収入の魅力があると、市民活動への資金調達にもなるので、安定した（ある程度）収入が得られる工夫。 資源回収の必要性のPRをきめ細かくすること。
常設又は、定期的（年複数回）に集団資源回収を実施されているのであれば、広く周知をし、持ち込みしていただく等資源化への意識を高める。 資料より地区で取り組まれているところもあることから、地域、地区で取り組めるようなしくみづくり 参照資料で、集団資源回収品目、回収範囲、実施団体の記載はありますが、収集頻度やどのように回収しているのか（団体の指定の回収場所へ各自持っていく、常設等）教えていただきたい。
充実していない地域は高齢者が多くみえると思われる。 資源ごみがあっても排出できない状態ということは、人の手が必要となる。 実施日の告知と回収することをかねて、訪問活動もひとつの方法だと思います。
シルバーの方たちに高齢で、持ち運びできない人の手助けをしていただきたいと思います。
ボランティアグループを募集する

Q5 その他、集団資源回収活動での悩みや提言がありましたらご記入ください。

<p>学校での資源回収について、なかなかやり辛くなっているのが現状。生徒数の減少により地域の働き手が少なくなっている点。業者との関係。費用対効果（収入減）などである。 学校のスペースにエコステーションを設置し、生徒に環境教育の一環として管理運営をさせる方法はどうか。その収入は、少ないが子どもたち還元する。</p>
<p>運営資金不足と収集場所の確保に困っているように見受けられる。</p>
<p>竹原地区の話ですが回収業者の経費増加、引き取り価格の低下により、資源回収を行ってもPTAとしての収益が見込めず逆に費用が発生してしまう状況で、限りのある市の奨励金を竹原だけで沢山使うのもどうかということもあり、現在資源回収を行うことができません。資源回収の見通しがたっていない。</p>
<p>現在は、校区の小中学校の回収（年2回）、婦人会のアルミ缶回収が実施されています。</p>
<p>少子化にともない人出不足となっているので、今のままで回収する種類を増やすと対処できなくなるのではないかと。</p>
<p>会員の高齢化もあってご主人達の協力も欠かせない（運搬等）活動の継続は、メンバーと他の地域の協力者のお陰であると思う。</p>
<p>回収時までの資源の保管問題 地域住民の参加 各地域でむらなく平均して活動出来る対策</p>
<p>馬瀬地区は資源回収はPTAの事業として、年1回の実施で充分対応されていると思われる。 実際には出せない人の為に、1～2箇所の拠点の設置が望ましい</p>
<p>買取相場の変動により収入が少ないと、当日の協力者へのお礼、広告代（折込み代）、印刷代、チラシ代等へ掛けることが出来なくなる。 無料での印刷や新聞折り込みへの支援を頂けると助かると思います。 PRについて、行政と市民活動団体とが共同でできると良い。</p>
<p>参照資料（其の29）に、集団資源回収の比較がありますが、実施団体、回数等、地区単位での実施等状況について教えていただきたい。 報奨金 逆有償時対応について教えていただきたい。</p>
<p>子供が減少して小・中学校だけでは大変なので高校生も資源回収に加えて欲しい。</p>

○ 資源ごみの資源化について

Q6 市収集用ごみ袋のうち資源化の観点から廃止したほうが良いと思うものは何ですか。

該当する番号に○（いくつでも）

項目	回答数	
	回答数	割合
1. 新聞・雑誌・ダンボール専用シール	6	33.33
2. 飲食料用あきかん専用袋	2	11.11
3. 金物類専用袋	1	5.56
4. 飲料用あきびん専用袋	0	0.00
5. ペットボトル専用袋	1	5.56
6. 乾電池専用袋	0	0.00
7. 小型家電製品・日用品混合ごみ専用袋	0	0.00

8. ガラス類・陶磁器類ほか われもの専用袋	1	5.56
9. 粗大ごみエフ（対象... 不燃・混合粗ごみ	1	5.56
10. 特になし	6	33.33
計	18	100.00

Q7 可燃ごみのうちから資源化のため取り組むべき品目として何がありますか。

◎ 該当する番号に○（いくつでも）

項目	回答数	
	回答数	割合
1. 衣類	9	18.75
2. 紙パック	11	22.92
3. 雑紙（空き箱など）	7	14.58
4. 発泡スチロール	9	18.75
5. プラスチック類	5	10.42
6. 食用油	2	4.17
7. 生ごみ	5	10.42
8. 特になし	0	0.00
9. その他	0	0.00
計	48	100.00

◎ 優先度の高い資源化品目（上記番号）を最大2つまで選んでください

項目	回答数	
	回答数	割合
1. 衣類	4	20.00
2. 紙パック	3	15.00
3. 雑紙（空き箱など）	6	30.00
4. 発泡スチロール	1	5.00
5. プラスチック類	2	10.00
6. 食用油	0	0.00
7. 生ごみ	4	20.00
8. 特になし	0	0.00
9. その他	0	0.00
計	20	100.00

Q8 資源ごみの回収方法として何が適当と思いますか。

項目	回答数	
	回答数	割合
1. 市の処理施設を介さず、直接民間の資源化処理事業者へ運搬	4	30.77
2. 市で分別又は加工したのち資源化処理業者へ運搬	6	46.15
3. わからない	2	15.38
4. その他	0	0.00
5. 未回答	1	7.69
計	13	100.00

Q9 資源ごみ（品目別）の回収手段と排出場所について適切な方法についてお尋ねします。

① 排出方法（ア～エ）

品目	ア	イ	ウ	エ	計
新聞雑誌	0	8	0	4	12
ダンボール	0	8	0	4	12
アルミ缶、スチール缶	9	3	0	0	12
リターナブルびん	10	3	0	0	13
乾電池	8	5	0	0	13
ペットボトル	10	3	0	0	13
衣類	6	5	0	2	13
紙パック	2	10	0	1	13
雑紙	0	10	0	3	13
小型家電	5	5	1	2	13
蛍光灯、電球	7	4	0	2	13
陶磁器	6	6	0	1	13
発泡スチロール	4	9	0	0	13
プラスチック類	8	4	1	0	13
食用油	3	2	3	4	12
生ごみ	10	0	3	0	13
その他	0	0	0	0	0

【割合】

品目	ア	イ	ウ	エ	計
新聞雑誌	0	66.67	0	33.33	100.00
ダンボール	0	66.67	0	33.33	100.00
アルミ缶、スチール缶	75.00	25.00	0	0	100.00
リターナブルびん	76.92	23.08	0	0	100.00
乾電池	61.54	38.46	0	0	100.00
ペットボトル	76.92	23.08	0	0	100.00
衣類	46.15	38.46	0	15.38	100.00
紙パック	15.38	76.92	0	7.69	100.00
雑紙	0	76.92	0	23.08	100.00
小型家電	38.46	38.46	7.69	15.38	100.00
蛍光灯、電球	53.85	30.77	0	15.38	100.00
陶磁器	46.15	46.15	0	7.69	100.00
発泡スチロール	30.77	69.23	0	0	100.00
プラスチック類	61.54	30.77	7.69	0	100.00
食用油	25.00	16.67	25.00	33.33	100.00
生ごみ	76.92	0	23.08	0	100.00
その他	0	0	0	0	0

Q9 ① 排出方法 エ. その他

排出者名を記入のエフ等をつけて出す。
一定量を束ねて、回収ボックスへ入れる方法が良いと思います。
紐等で束ねる
生ごみ専用袋
紐で束ねる
集めて石鹼等に再利用
結束

P6 Q9 資源ごみ ① の選択項目

① 選択項目

- ア. 任意の中身が見える袋
- イ. 回収容器等へ袋無しで投入
- ウ. わからない
- エ. その他 ()

P8 Q9 資源ごみ ② の選択項目

② 選択項目 (最大2つ)

- A. 拠点回収 (公共施設、学校敷地、公民館等)
- B. 既存のごみステーションで回収
- C. イベント等で回収
- D. クリーンセンターに持ち込み
- E. その他 ()

② 排出場所（A～E最大2つ）【1つ目回答数】

品目	A	B	C	D	E	計
新聞雑誌	10	2	0	0	1	13
ダンボール	8	4	0	0	1	13
アルミ缶、スチール缶	8	4	0	0	1	13
リターナブルびん	6	6	0	1	0	13
乾電池	5	6	0	2	0	13
ペットボトル	4	8	0	1	0	13
衣類	4	3	4	1	0	12
紙パック	6	4	2	0	0	12
雑紙	9	3	0	0	1	13
小型家電	1	3	1	8	0	13
蛍光灯、電球	0	8	1	4	0	13
陶磁器	0	6	3	4	0	13
発泡スチロール	2	7	1	3	0	13
プラスチック類	0	8	1	4	0	13
食用油	1	3	1	2	4	11
生ごみ	0	8	0	2	2	12
その他	0	0	0	0	0	0

【割合】

品目	A	B	C	D	E	計
新聞雑誌	76.92	15.38	0	0	7.69	100.00
ダンボール	61.54	30.77	0	0	7.69	100.00
アルミ缶、スチール缶	61.54	30.77	0	0	7.69	100.00
リターナブルびん	46.15	46.15	0	7.69	0	100.00
乾電池	38.46	46.15	0	15.38	0	100.00
ペットボトル	30.77	61.54	0	7.69	0	100.00
衣類	33.33	25.00	33.33	8.33	0	100.00
紙パック	50.00	33.33	16.67	0	0	100.00
雑紙	69.23	23.08	0	0	7.69	100.00
小型家電	7.69	23.08	7.69	61.54	0	100.00
蛍光灯、電球	0	61.54	7.69	30.77	0	100.00
陶磁器	0	46.15	23.08	30.77	0	100.00
発泡スチロール	15.38	53.85	7.69	23.08	0	100.00
プラスチック類	0	61.54	7.69	30.77	0	100.00
食用油	9.09	27.27	9.09	18.18	36.36	100.00
生ごみ	0	66.67	0	16.67	16.67	100.00
その他	0	0	0	0	0	0

【2つ目回答数】

品目	A	B	C	D	E	計
新聞雑誌	0	3	2	2	2	9
ダンボール	0	2	2	3	2	9
アルミ缶、スチール缶	0	3	2	2	1	8
リターナブルびん	1	3	2	2	0	8
乾電池	0	3	2	2	0	7
ペットボトル	0	2	1	3	1	7
衣類	1	0	3	5	1	10
紙パック	1	4	0	2	2	9
雑紙	0	5	1	2	1	9
小型家電	0	0	1	2	0	3
蛍光灯、電球	0	0	1	3	0	4
陶磁器	1	0	1	3	0	5
発泡スチロール	0	1	1	2	2	6
プラスチック類	1	0	1	2	0	4
食用油	0	0	1	1	1	3
生ごみ	0	0	0	3	1	4
その他	0	0	0	0	0	0

【割合】

品目	A	B	C	D	E	計
新聞雑誌	0	33.33	22.22	22.22	22.22	100.00
ダンボール	0	22.22	22.22	33.33	22.22	100.00
アルミ缶、スチール缶	0	37.50	25.00	25.00	12.50	100.00
リターナブルびん	12.50	37.50	25.00	25.00	0	100.00
乾電池	0	42.86	28.57	28.57	0	100.00
ペットボトル	0	28.57	14.29	42.86	14.29	100.00
衣類	10.00	0	30.00	50.00	10.00	100.00
紙パック	11.11	44.44	0	22.22	22.22	100.00
雑紙	0	55.56	11.11	22.22	11.11	100.00
小型家電	0	0	33.33	66.67	0	100.00
蛍光灯、電球	0	0	25.00	75.00	0	100.00
陶磁器	20.00	0	20.00	60.00	0	100.00
発泡スチロール	0	16.67	16.67	33.33	33.33	100.00
プラスチック類	25.00	0.00	25.00	50.00	0.00	100.00
食用油	0	0	33.33	33.33	33.33	100.00
生ごみ	0	0	0	75.00	25.00	100.00
その他	0	0	0	0	0	0.00

◎ 排出場所 E. その他

生ごみ処理機やコンポストの利用などをうながす。

生ごみ処理施設 エコステーション

集団回収 資源回収BOX

Q10 資源ごみを拠点回収とした場合の手法についてお尋ねします。

◎ 拠点場所の設置数として適切と思う番号を選んでください。

該当する番号に○（1つ）

項目	回答数	
		割合
1. 旧町村毎に1カ所	0	0.00
2. 人口規模による設置（例... 下呂5、萩原4、金山3、小坂2、馬瀬1）	7	50.00
3. 自治会区等单位	6	42.86
4. その他	1	7.14
計	14	100.00

◎ 拠点設置数 4. その他

学校も含め、できるところを模索

自治会区等单位が望ましいが、管理ができない場合は人口規模による設置

◎ 拠点場所の管理方法として適切と思う番号を選んでください。

該当する番号に○（1つ）

項目	回答数	
		割合
1. 露店（紙類のみ雨水対策）	0	0.00
2. 簡易物置	2	14.29
3. 貨物コンテナ	6	42.86
4. コンテナハウス	5	35.71
5. 専用施設の建設	1	7.14
6. その他	0	0.00
計	14	100.00

◎ 施設の運用について適切と思う番号を選んでください。（1つ）

該当する番号に○（1つ）

項目	回答数	
		割合
1. 日時指定して人員を配置	2	15.38
2. 昼間のみ運用し、夜間は閉鎖（開設時間中は無人）	7	53.85
3. 無人24時間運用	3	23.08
4. その他	1	7.69
計	13	100.00

③ 施設の運用 4. その他

設置施設によって考える

人員の配置には費用がかかると思われます。
24時間運用は、資源ごみを出す人からみれば大変ありがたいことですが、マナーが徹底してないと回収される方が困られる不安があります。

○ ごみ出し困難者対策について

Q11 高齢、障がい等を理由としたごみ出し困難者に対する対策として何が必要と思いますか。

該当する番号に○（1つ）

項目	回答数	
		割合
1. 自治会による支援活動	7	50.00
2. NPO等による支援活動	1	7.14
3. 市が困難者と認めた世帯に対して収集運搬業者へ収集を委託	3	21.43
4. 個人が負担するごみ出し費用に対する公的な支援	0	0.00
5. ごみ出しを支援する団体に対する公的な支援	0	0.00
6. その他	3	21.43
計	14	100.00

Q11 ごみ出し困難者の対策 6. その他

誰かに負担を強いるのでなく、総合的に考える。

個々の状況により最適な支援方法が異なり一概には言えない。

自治会による支援活動が望ましいが、可能であろうか。

ボランティア活動+ポイント制

シルバー人材センターとしての仕事にも入れてもらえると、地域の中での助け合いとして動きが出るのではないかと。

Q12 ごみ出し困難者に対するご意見等がありましたらご記入ください。

自治会による支援は必要であり、すでに行っているが、お任せでなく、市や市が委託する業者の支援など複合的な方法を考えたい。

ごみの問題も含め安否確認ができる様な組織を市主導にて是非結成して欲しい。（各地区に見守り隊的組織など）

ごみ出し困難者の支援は近くに住んでいることが続ける上では大事なことであるので、自治会等の支援もお願いできたらいいと思う。

市全体の自治会で共通問題として話し合い、対策を検討

高齢者や障害のある方に関わる市・社協の職員・地域の福祉委員が、訪問する際に代理としてごみを出せるような体制づくりを検討するのはどうでしょうか。

福祉計画にも盛り込むようになっていきます。地域の中で解決するような投げかけが必要ではないか。

高齢者や障がい者の方も含め誰もがわかるごみ出しのガイドブックなど（字を大きく、読み仮名など）
ごみ出しに困っている方がどの程度お見えになるのか、ニーズの見込みはどうかの把握が必要
地域、福祉関係団体や行政（高齢福祉、障がい福祉等）関係機関との連携し、取り組んでいく必要がある

小坂の場合、福祉委員の仕事が特に年間を通して無いのでごみ出し困難者のお手伝いをさせていただくと良いと思います。

○ その他

Q13 ごみの減量化、資源化に対するご意見がありましたらご記入ください。

個人的にできること（分別等）、団体としてできること（資源回収等）、市としてできること（資源処理施設、事業所との連携等）を分けて考えることが必要と考える。

ごみの減量化、資源化に関してまだまだ徹底できていない様に思う。もっと強く呼びかけると共に機会あることに周知に努めるべきと考える。
又、ごみの野焼きなども有線放送で呼びかけているがそこまでであり、まだまだ守られていないのが現状である。巡回をするなど、もっと強く働きかけるべきと思う。

ごみの減量、資源化にインパクトのあるアピール方法で興味を持ってもらい、個人の負担にならない簡単に始められる事が大事だと思います。

住民の意識を高めることが重要で最大の課題か。

必要でないものは買わない。
（洋服や制服などは、着回ししていくことも大切）
野菜など、使用できなくなる前に手を加えて冷凍していくなどの工夫する。
冷蔵庫の中をチェックしてから買い物に行く習慣にする。
資源になるものを日頃から分別しておく。

エコステーションの創設
食品ロス対策（再利用）業者、一般から排出される生ごみ問題の解決策
結果として、燃焼率の向上、燃費の削減、施設の持続化

雑紙を別に回収することにより、ごみ袋に入れるごみの量は、かなり少なくなり燃やすごみが減量化されることになると思います。紙の資源化が出来る工夫をする必要があると思います。

ごみの資源化について、守富先生から事例をお聞きしましたが、資源ごみの品目別の資源化の事例をお聞きしたい。

下呂市における再資源化、ごみ処理状況の実施していないことについての今後の取り組みについてお聞きしたい。（プラスチック容器、衣類、生ごみ等）

ごみの減量化、資源化の取り組みについてあまり知られてないと思うので、資源回収団体や回収ボックスの周知、ごみの回収について市民誰にでも分かりやすいチラシ作成配布等、市民の皆さんに知っていただくことにより、ごみの減量化、資源化への意識・関心を高めていただけたらと思いますが。

家の周りを見渡してみても、独居が多く今後十年間で人口が減少してしまいます。よってごみも大分減量化していくと思います。

空き家対策の方が大変かと思います。